

骨材のふるい分け試験（JIS A 1102）

様式・品質3-1

工 事 名 _____
 工 種 _____
 プラント名 _____
 試料採取
 場 所 _____
 試験年月日 _____
 試験場所 _____
 測定者 _____

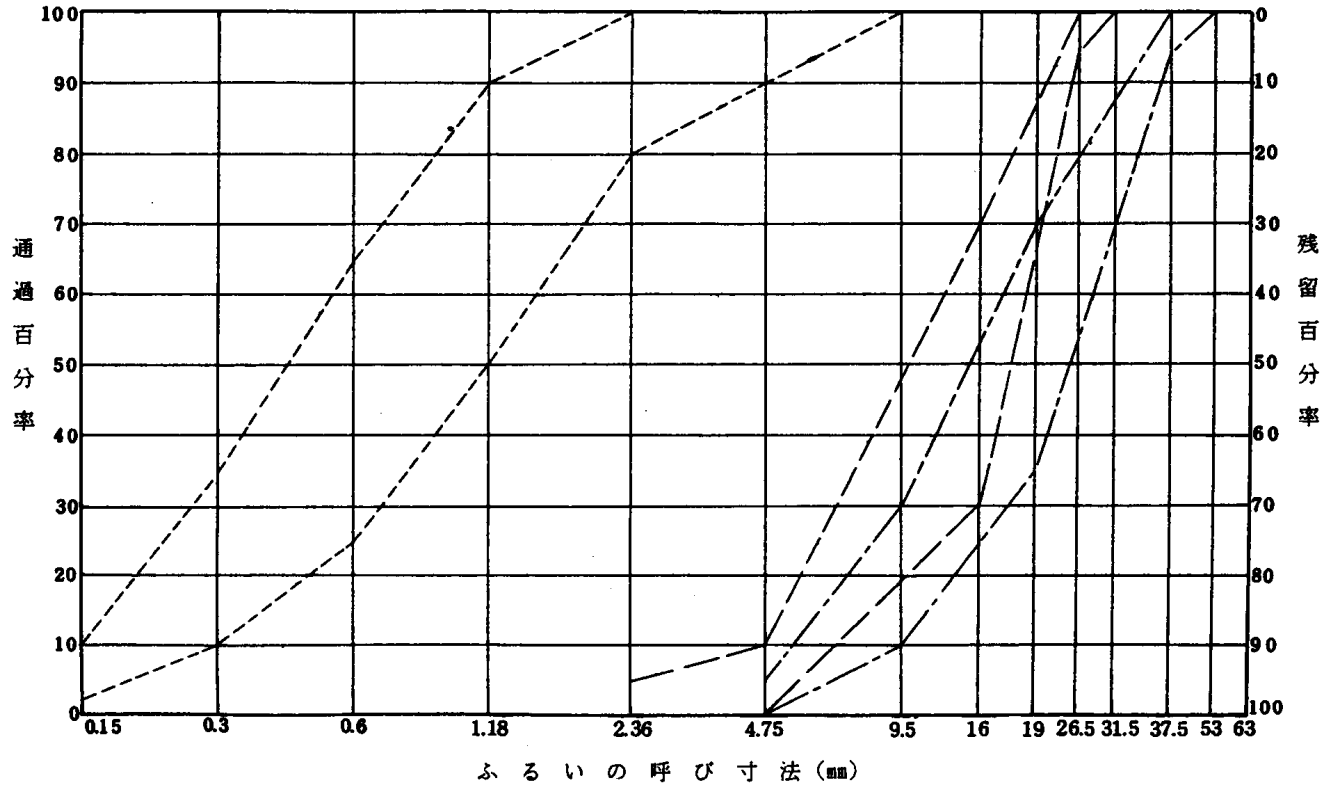
	細 骨 材	粗 骨 材
最大寸法		
産 地		
比 重		
吸 水 量		

比重、吸水量は 年 月 日の測定値

現場代理人 _____

細骨材の種類				粗骨材の種類			
粗 粒 率				粗 粒 率			
ふるい の法 呼び (mm)	ふるい の法 質量 (kg)	ふるい の法 質量 (%)	ふるい の法 質量 (%)	ふるい の法 呼び (mm)	ふるい の法 質量 (kg)	ふるい の法 質量 (%)	ふるい の法 質量 (%)
				63			
				53			
				37.5			・
9.5				31.5			
4.75				26.5			
2.36				19			・
1.18				16			
0.6				9.5			・
0.3				4.75			・
0.15				2.36			・
皿			100	皿			100
計		100		計		100	

粒 度 曲 線



防 舷 材 形 状 管 理 表 (例)

工 事 名 _____ 型 式 _____

年 月 日 _____ 現場代理人 _____

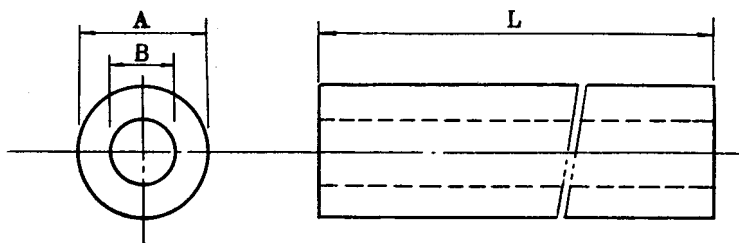
単位 mm

測定箇所		標準寸法	No.	No.	No.	備 考
長 さ	L ₁					
	L ₂					
幅	A					
	B					
高 さ	H					
ボルト穴径						
ボルト穴の 中心間隔	C					
	l ₁					
	l ₂					
そ の 他						

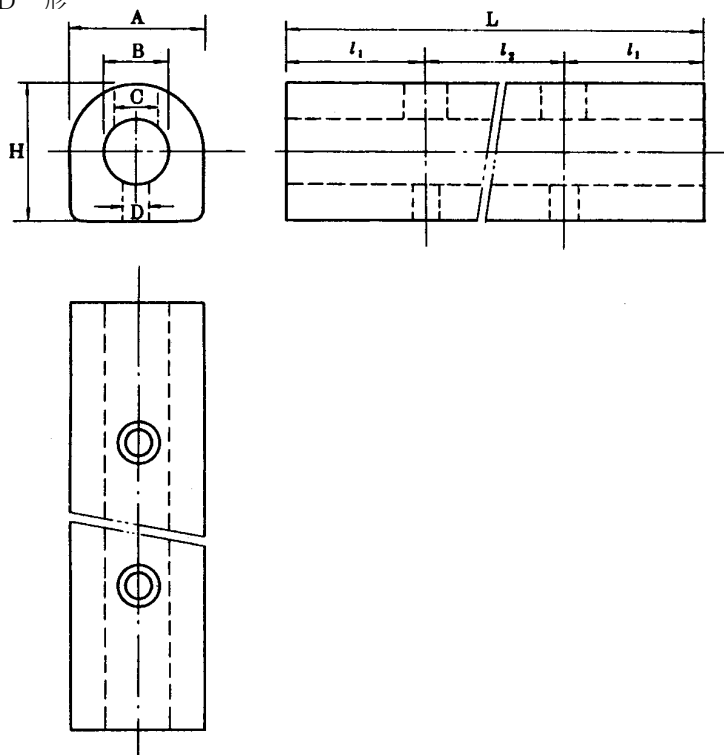
(別紙)

防舷材形状測定箇所 (例)

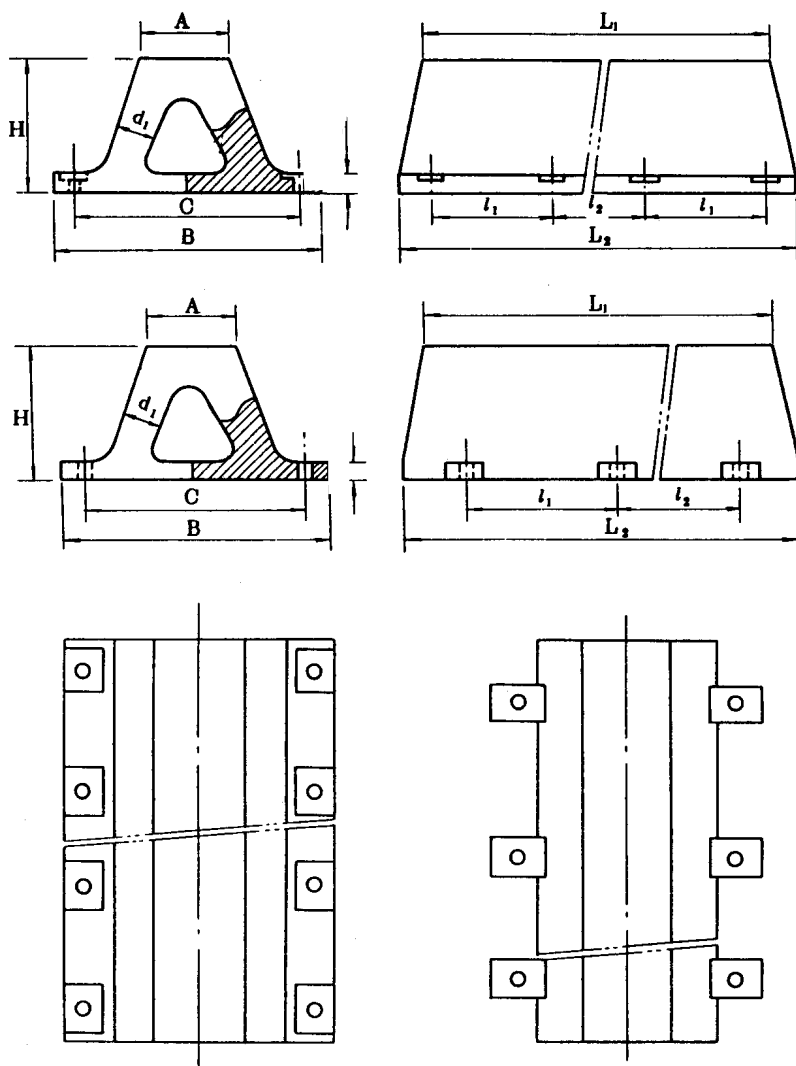
1. 中空円筒形



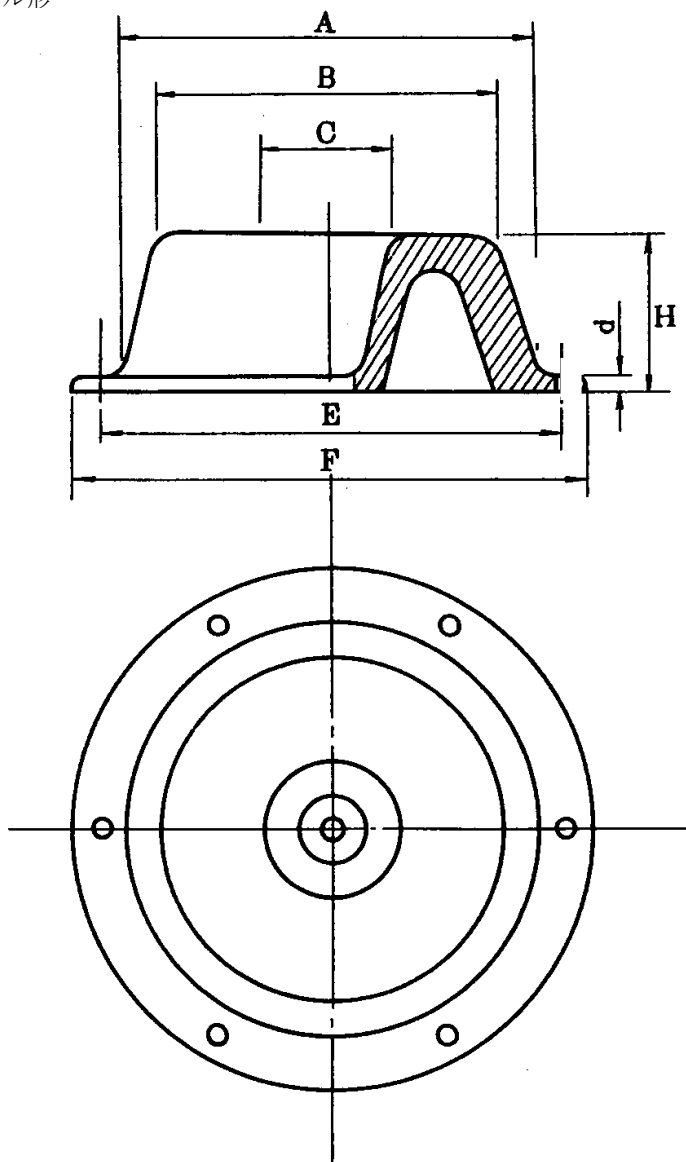
2. D 形



3. V 形



4. サークル形



コンクリート試験成績表（試験練用）

工 事 名 _____ 工 種 _____

試 験 日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 立 会 者 _____

試 験 場 所 _____ //

1 示方配合表

粗骨材の 最大寸法 (mm)	スランプの 範 囲 (cm)	空気量の 範 囲 (%)	水セメント比 W/C (%)	細骨材率 s / a (%)

2 現場配合表

コンクリート量 (m ³)	W (kg)	C (kg)	S (kg)	G (kg)
1				

3 試料採取及び養生（JIS A 1115 及び 1132）

採 取 年 月 日	
採 取 場 所	
採 取 時 刻	
天 候	
気 温	
コンクリート温度	
ス ラ ン プ	
空 気 量	
養 生 方 法	
養 生 温 度	
材 令	

プラント名 _____

測 定 者 _____

現場代理人 _____

単 位 量 (kg/m ³)				
水, W	セメント, C	細骨材, S	粗骨材, G	混和剤()

混 和 剤 (m ³ , g)	表 面 水 (%)		摘 要	
	S	G		

4 試験成績表 (JIS A 1108 又は 1106)

供 試 体 番 号	No.	1	2	3	平 均
供試体の直径	cm				
〃 幅	〃				
〃 高 さ	〃				
〃 長 さ	〃				
〃 スパン	〃				
最 大 荷 重	kN				
圧 縮 強 度	N/mm ²				
曲 げ 強 度	〃				
破 壊 状 況					
そ の 他					

コンクリート 強 度 (圧 縮 曲 げ) 管 理 表

工 事 名 _____

工 種 _____

打 設 年 月 日	番 号	スランブ (cm)	空 気 量 (%)	温 度 (℃)		
					試験月日	X ₁

設 計 条 件

X管理図

管理限界＝

呼 び 強 度	N/mm ²	標 準 偏 差	N/mm ²
粗骨材の最大寸法	mm	変 動 係 数	%
スランブの範囲	cm～ cm	割 増 係 数	
空 気 量 の 範 囲	%～ %	配 合 強 度	N/mm ²

U C L =

L C L =

$$\bar{X} = \frac{\sum X}{N} =$$

※JIS工場の場合はR_s、R_m、(X - $\bar{X}$)²、標準偏差、変動係数、割増係数、配合強

現場代理人 _____

σ_{2s}			R s	R m	$(X - \overline{X})^2$	摘 要
X_2	X_3	平均值 $\overline{X}$				

R s 管理図

R m 管理図

標準偏差 $\sigma =$

$$\sqrt{\frac{\sum (X - \overline{X})^2}{N - 1}}$$

$\overline{X} \pm 2.66\overline{R}_s$

管理限界 = $3.27\overline{R}_s$

管理限界 = $2.57\overline{R}_m$
($n=3$)

U C L =

U C L =

$\overline{R}_s = \frac{\sum R_s}{N-1} =$

$\overline{R}_m = \frac{\sum R_m}{N} =$

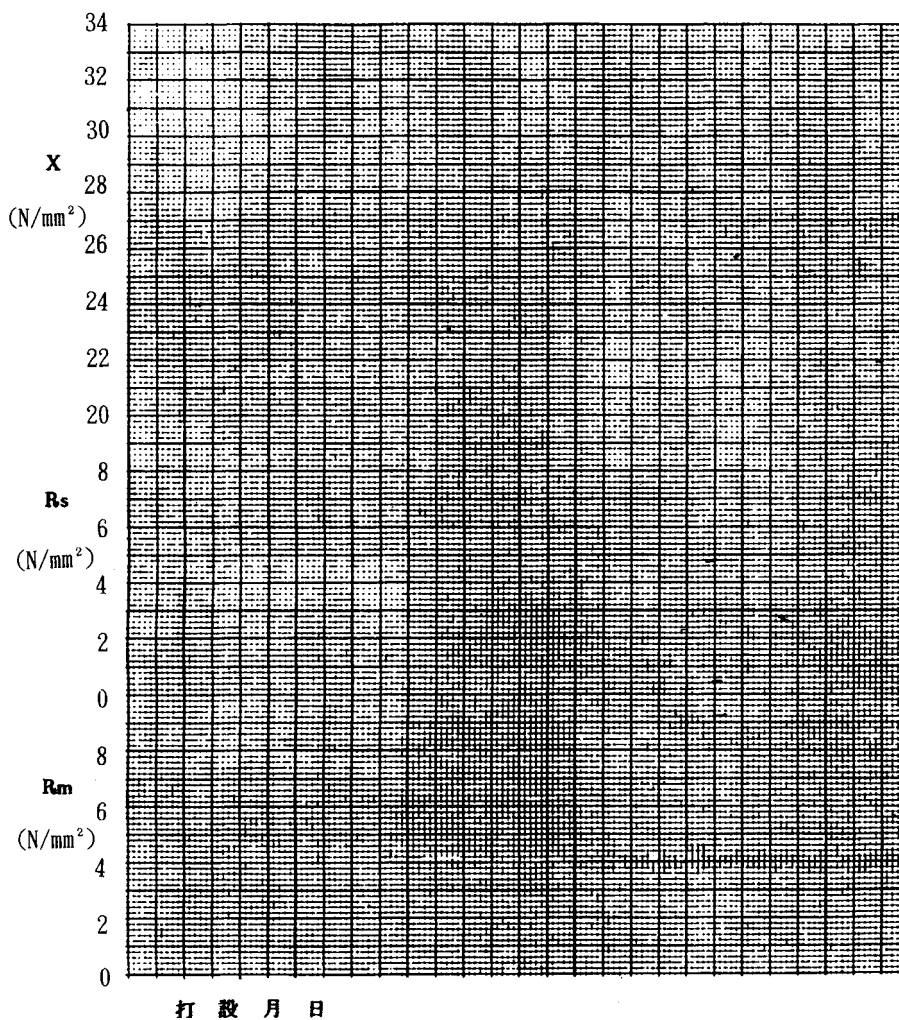
變動係數 $V = \frac{\sigma}{\overline{X}} \times 100 =$

度は不要

コンクリート 強度 (圧 縮) 管 理 図 曲 げ

工 事 名

工 種



現場代理人

